

4次元デジタル宇宙ビューワー「Mitaka (ミタカ)」で見る星空

星空の見え方は、地球上の場所によって変わります。無料でダウンロードできる天文ソフト「Mitaka」を使って比べてみよう！ <https://4d2u.nao.ac.jp/html/program/mitaka/>

3月中旬午後8時（20時）ごろ、北緯34.8度の焼津市では、南の空に**オリオン座**、**おおいぬ座**、**こいぬ座**が見えています。また地平線近くに**カノープス**もあります。

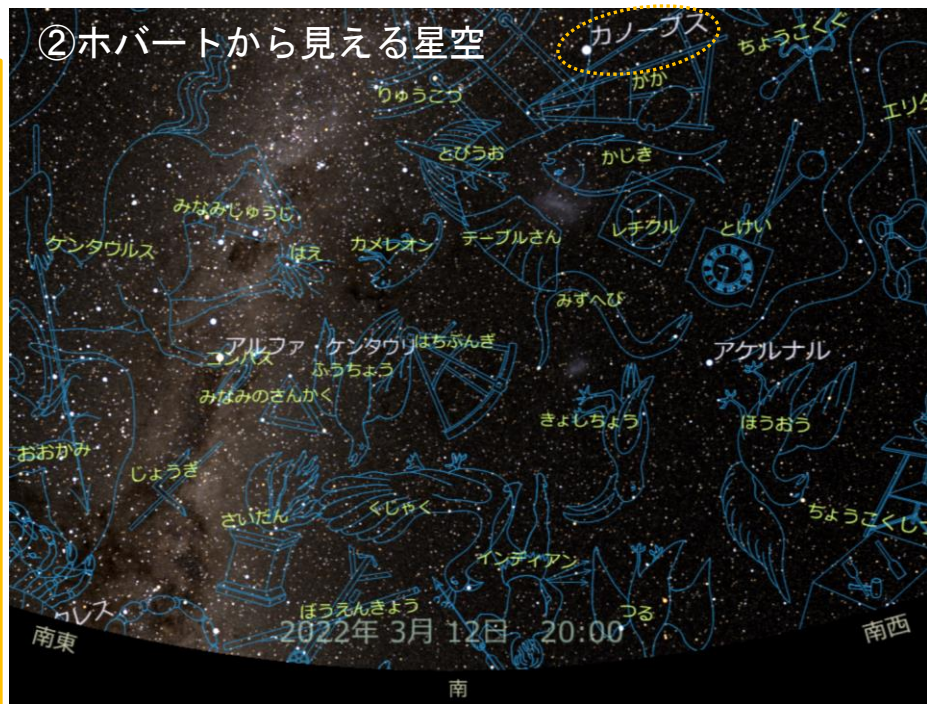
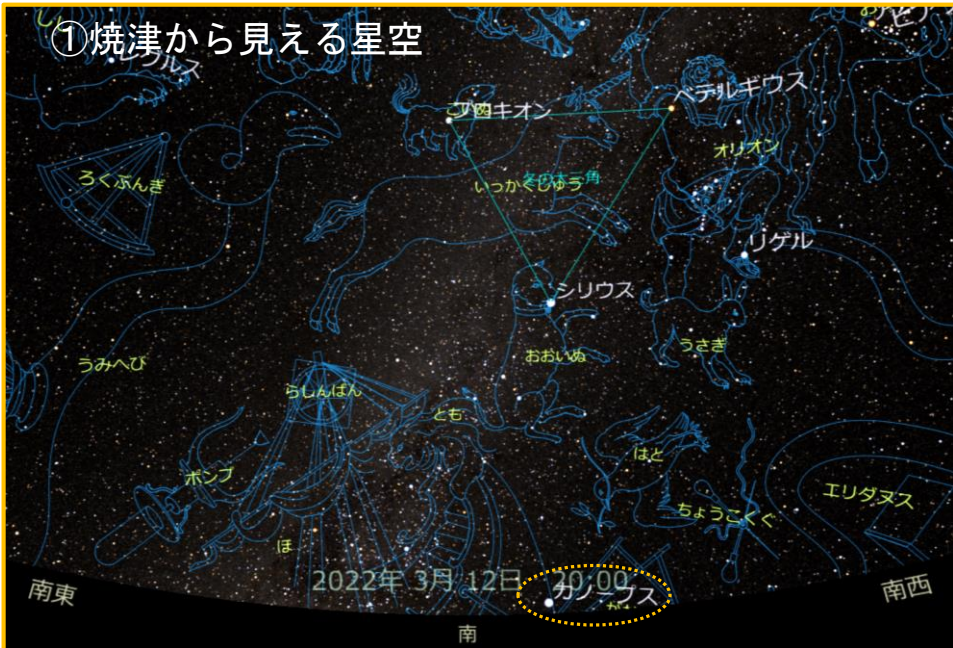
一方、焼津市の姉妹都市オーストラリア・タスマニア州にある南緯42.9度のホバート市では、南の空に**南十字星**、**はえ座**、**カメレオン座**、**とびうお座**、**きよしちょう座**などが見えています。**カノープス**は空高くにあります。

緯度の違いによって、星空や星座の見え方が違うことがわかりますね。

©国立天文台 4次元デジタル宇宙プロジェクト提供

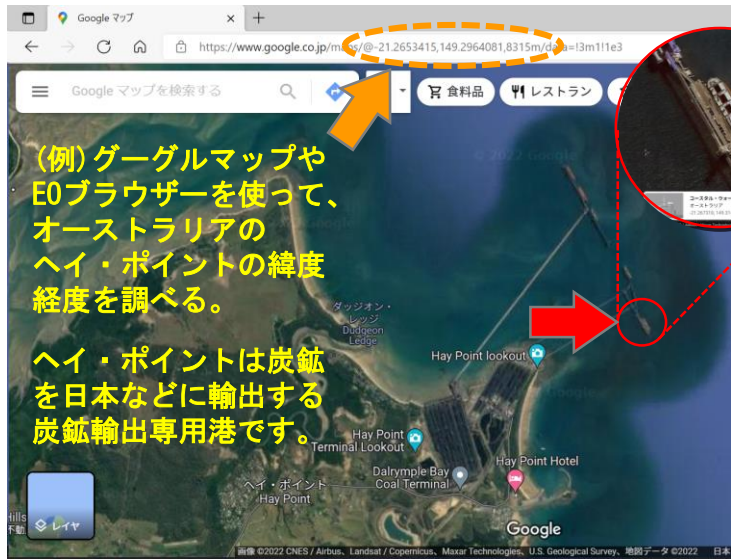


同じ緯度の都市では星空の見え方が違うのかな？



1 ページ目のような設定を「Mitaka」で行うことができます。

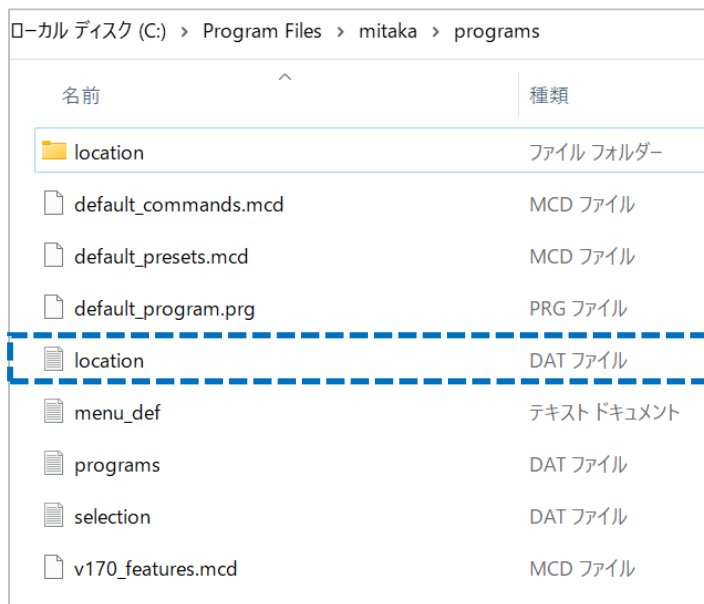
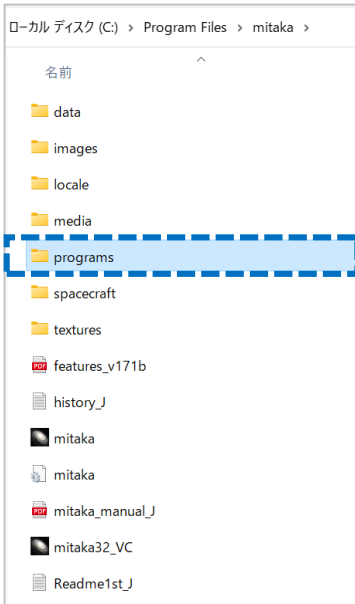
① 設定したい緯度経度を用意する。



④ locat. datを保存したら、再び「Mitaka」を起動する。

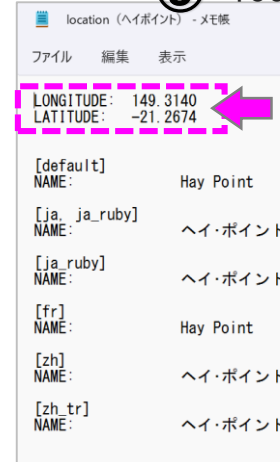


② Mitakaをダウンロードしたフォルダ→programsフォルダ→location. datをテキストファイルで開く。



「location. dat」のファイルを開いたことが無い場合は「このファイルを開くアプリを選択してください」という表示がでるので、「その他のアプリ」→「メモ帳」を選択する

③「location. dat」を開いた画面



現状では国立天文台（三鷹）の情報が入っているので
1. この箇所には緯度経度を入力する
①で取得した緯度経度

2. この箇所には地名を入れる

【注意とポイント】

- ・「location. dat」を書き換える前に最初のデータを保存しておきましょう。
- ・書き換えたデータを保存するときの拡張子は「. dat」です。